

中国の記事から (WTO/FTA・貿易・安全 ・その他)

2006年3月20日号

目次

- ◎黒龍江省大慶市、石油以外の産業発展にも力入れる
【経済日報 2006年03月13日】
 - ◎1～2月の全国消費財小売額は12%増の1.2兆元
【経済日報 2006年03月16日】
 - ◎アブラナ原料のバイオディーゼル燃料技術が湖北省の審査をパス
【中国化工報 2006年03月16日】
 - ◎中国とニュージーランド、第6回 FTA協議終える
【国際商報 2006年03月16日】
 - ◎ハイツ製品に遺伝子組み換え成分？ 農業部も重視
【経済日報 2006年03月17日】
 - ◎雲南省河口とベトナムラオカイを結ぶ橋を建設へ
【経済日報 2006年03月17日】
 - ◎中国とASEAN、1～2月の貿易額は3割増の212億ドル
【国際商報 2006年03月18日】
 - ◎1～2月の全国国境貿易額は45%増の20億ドル
【経済日報 2006年03月18日】
-

- ◎黒龍江省大慶市、石油以外の産業発展にも力入れる
【経済日報 2006年03月13日】

黒龍江省大慶市共産党委員会の蓋如垠・書記は、2005年の同市原油生産量は4400万トン、利益は700億元余り、納税額は300億元に達したことを明らかにした。また、同年の大慶市GDPは1840億元を記録している。

蓋書記によれば、大慶市は第11次5カ年計画(2006~2010年)末期までに石油・天然ガス生産量4200万トン相当、2020年まで約4000万トン相当を生産していく計画である。

しかし、石油資源には限りもある。このため2010年までに石化産業の規模を1300億元、乳業規模を100億元、電子チップ産業規模を100億元に、繊維・皮革業の規模を100億元以上、ゴム材料生産規模を100億元、非石油産業の売上を2000億元に到達させることを目指しており、石油産業と非石油産業の割合を1対1にしていく計画である。

◎1~2月の全国消費財小売額は12%増の1.2兆円

【経済日報 2006年03月16日】

国家統計局は、最新統計データを発表、1~2月の全国消費財小売額は計1兆2644億元(12.5%増。前年同期比、以下同じ)に達したことが分かった。

1月単月では15.5%増、2月単月では9.4%増となった。都市部での消費財小売額は8496億元(13.2%増)、県クラス以下の地区では4147億元(11.1%増)であった。卸し・小売業の消費財小売額は1兆645億元(13.2%増)、ホテル・飲食業は1760億元(13.1%増)、その他の小売業は238億元(1.1%増)となっている。

品目別の消費財小売額は、食用油などが18.9%増、食肉・タマゴが7.7%増、衣類などが16.6%増、日用品が15.0%増、貴金属・宝飾品が23.0%増、通信器材が24.8%増、自動車が29.5%増、石油製品が40.6%増を記録している。

◎アブラナ原料のバイオディーゼル燃料技術が湖北省の審査をパス

【中国化工報 2006年03月16日】

アブラナを原料とするバイオディーゼル燃料技術が9日、湖南省科学技術庁の審査をパスした。同技術は、同省華中農業大学バイオマス・エネルギー研究センターが開発し、5月には年産200トンのバイオディーゼル燃料生産ラインを建設するほか、年内にも同省の搾油原料加工企業と合併で年産2000トンのバイオディーゼル燃料装置を建設する計画である。同技術は特殊な溶剤を使用してアブラナから油脂を滲み出させ、これをバイオディーゼル燃料へと転化するものである。

アブラナは、湖北省の重要農産物の1つで、バイオディーゼル燃料の理想的原料でもある。アブラナからは、油脂が抽出しやすく原料も豊富、工程も少なく生産コストを削減できるなどの特長がある。

◎中国とニュージーランド、第6回 FTA協議終える

【国際商報 2006年03月16日】

中国とニュージーランドは、7~10日、両国自由貿易協定(FTA)締結に関する第6回協議を北京市にて行った。両国の貨物貿易、サービス貿易、投資、貿易救済、知的財産権、摩擦解決方法、「原産地」ルール、両国税関の協力、動植物の検疫、技術的な貿易障壁に関する協議を行い、一定の成果をあげた。両国は2004年11月にFTA協議を始めると発表、先進国で中国とのFTA協

議を始めたのはニュージーランドが初めて。両国の貿易関係は近年急速に発展しており、2005年の2国間貿易額は26億8000万ドル(2005年の2.5倍)に達している。

今回の協議には、商務部、外交部、国家発展改革委員会、財政部、農業部、海関総署(税関)、国家質量監督検疫総局(製品品質を管理)の代表らが参加した。第7回協議はニュージーランドにて行われる。

◎ハイツ製品に遺伝子組み換え成分? 農業部も重視

【経済日報 2006年03月17日】

グリーンピースが、13日に、食品大手・ハイツ(亨氏)の乳児用米粉の原料である水稲に遺伝子組み換え成分が含まれていると発表したことについて、農業部関係者は14日、農業部としてもこれを重視しており、何らかの違法行為があった場合は法に基づいて処分していく方針であることを明らかにした。

同関係者は、「中国は遺伝子組み換え食物の安全性を一貫して重視しており、遺伝子組み換え農産物については安全評価・許可制度を実施している。市場で販売される農産物は全て農業部が発給する遺伝子組み換え生物安全証書を取得しなければならない」と語っている。現在のところ、農業部はまだ遺伝子組み換え水稲の安全証書を発給したことはない。

一方、ハイツ中国の唐佳トン総裁によれば、製品に遺伝子組み換え成分は一切含まれておらず「われわれの製品に品質問題はなく、製品を回収する必要はない」と述べている。

◎雲南省河口とベトナムラオカイを結ぶ橋を建設へ

【経済日報 2006年03月17日】

中国とベトナムは、2006年2月、雲南省の河口とベトナムのラオカイ(老街)の間を流れるソクイ川(紅河)にて「金城橋」を建設することで合意し、2007年2月から供用開始となる予定である。河口では大規模な経済区の建設が間もなく始まり、ラオカイでも敷地面積250ヘクタールの開発区が建設されるなど、両地は中越貿易の物流、中継センターとしての役割を担うようになってきている。

また、ベトナムと中国は、昆明(雲南省)ー河口ーラオカイーハノイーハイフォンを結ぶ経済区域の建設を目指している。中国は現在、昆明ー河口の全長450キロメートルの高速道路を建設中、昆明ー河口の鉄道レール幅も従来は1メートルであったが1.4メートルのものに変更した。ラオカイでも3億ドルを投じてインフラ施設を整備していく計画である。金城橋の開通により中国とベトナムの貿易額が大幅に伸びるものと期待されている。

◎中国とASEAN、1～2月の貿易額は3割増の212億ドル

【国際商報 2006年03月18日】

商務部は、最新統計データを発表し1～2月の中国とASEAN間の貿易額は前年同期比28.2%増となる212億8000万ドルに達したことが分かった。

中国のASEAN向け輸出額は、31.8%増の89億ドル、ASEANからの輸入額は25.7%増の123億8000万ドルで、中国が34億8000万ドルの赤字となった。

また、2月単月の貿易額は28.4%増の100億3000万ドル。内訳は、中国のASEAN向け輸出額が29.1%増の40億8000万ドル、ASEANからの輸入額が27.9%増の59億5000万ドルで、中国が18億7000万ドルの赤字を記録している。

◎1～2月の全国国境貿易額は45%増の20億ドル

【経済日報 2006年03月18日】

商務部は、13日、1～2月の全国国境貿易額は前年同期比45.8%増となる20億7600万ドルに達したと発表した。全国貿易額に占める割合は0.92%となっている。1～2月の国境貿易の内訳は、輸入額が前年同期比14.8%増の9億5400万ドル(全国輸入額の0.89%)、輸出額は同89.1%増の11億2200万ドル(全国輸出額の0.94%)となっている。

また、2月単月の全国国境貿易額は62.2%増の10億4300万ドル。内訳は輸入額が23.9%増の5億1100万ドル、輸出額が130.7%増の5億3200万ドルとなっている。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。